

リコー三愛グループの歩み

リコー



1955年11月
理研光学工業、
ジアソ複写機の1号機
「リコピー101」を発売。
事務機器分野へ進出

市村はカメラの輸出拡販と市場調査のために頻りに訪問した欧米で、事務機の時代の到来を察知した。

三愛



銀座に誕生した三愛（1946年）

1945年11月1日
三愛商事(株)設立
(48年、三愛商事を(株)三愛に改組、設立)

終戦後の事業方針を「サービス業の開拓」と決定した市村は、三愛商事を設立し、食料品を適正価格で売る店をスタートさせた。

リコー



理研感光紙から理研光学工業へと社名を改めた頃の本社（1938年、銀座8丁目）

1936年2月6日
理化学興業(株)から独立し
理研感光紙(株)として設立
(38年、理研光学工業(株)に社名変更)

財団法人理化学研究所における発明の工業化を目的とする理化学興業(株)から独立し、理研感光紙(株)として設立。市村清、専務取締役役に就任。



リコー

1950年3月
理研光学工業、
「リコーフレックスⅢ」を
発売

カメラの大衆化の先駆けとなったリコーフレックスⅢは、カメラ店が大森工場まで直接買い付けに来るほどの大ブームとなった。

三愛会

1946年4月4日
自蹊会を「三愛会」に改称
(三愛会設立)

1950

1945

1936

三愛オブリ



1952年6月9日
三愛石油(株)設立

石油製品の販売を目的として、三愛石油(株)の商号でスタンダード・ヴァキューム石油会社の代理店として発足。

三愛オブリ

1952年10月27日
三愛石油羽田営業所を開設。航空機への給油事業を開始

羽田空港内における構内営業を許可され、空港内に羽田営業所（現 羽田支社）を開設。航空機への給油事業に着手した。

明治記念館



1947年11月1日
市村、明治神宮からの再建要請で
明治記念館を開館

元憲法記念館を結婚式場として開館、大成功を収める。

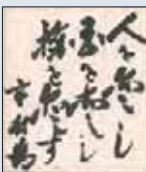
三愛会

1944年10月
自蹊会発足
グループ機関誌
『自蹊会会報』
発行

社員が勤めを楽しく面白いと感じ、働くことに何の心配もない独特の「市村産業団」をつくり上げるため、各社の連携を図る目的で関連会社7社からなる自蹊会が設立された。



1946年12月
市村、「三愛精神」を発表
グループ機関誌『三愛』創刊



三愛会

三愛オブリ



1955年12月15日
三愛石油、
ハイドラント式給油施設による
航空機給油業務を開始

その第1号となったのは日本石油（現 JX エネルギー(株)）で、航空機は日航 DC-4 型双発機であった。

- リコー/リコーグループ
- 三愛オブリ/三愛オブリグループ
- ココ・コーラ ボトラーズジャパン/ココ・コーラ ボトラーズジャパングループ
- 市村清新技術財団
- 市村清が手掛けた会社
- 三愛会

リコー



1965年9月

リコー、静電複写機「電子リコピー BS-1」発売

電子リコピーの大ヒットは、無配に転落したリコーの救世主となった。

リコー

1963年4月

理研光学工業、(株)リコーに社名変更

コカ・コーラ ボトラーズジャパン



ボトラー契約調印式

1960年12月20日

飲料の製造・販売会社、日米飲料(株)を設立(63年、日米コカ・コーラボトリング(株)に社名変更)

北九州地区のコカ・コーラ事業に進出。

三愛会



1963年3月11日

市村、佐賀県に佐賀県体育館(現 市村記念体育館)を寄贈

小学校への講堂寄贈と同様に故郷への恩返しの一つ。スポーツ強化、文化振興など広く活用されている。

三愛



1990年、広告塔に「San-ai」の文字が浮かび上がった

1963年1月13日

三愛ドリームセンター完成

深夜午前0時の開店披露イベントが話題となる。

西銀座デパート



1958年10月1日

西銀座デパート開店

数寄屋橋の堀が埋め立てられ、高速道路が開通したことを契機に道路下に日本初のショッピングセンターを開店した。

1965

1960

1955

ホテル三愛



1964年7月10日

ホテル三愛(現 札幌パークホテル)開業

市村はホテル業界へも進出したが、リコーの再建途上で1966年には売却することとなった。

コカ・コーラ ボトラーズジャパン



1963年5月4日

日米コカ・コーラボトリングの本社・福岡工場を開設

深夜、歓声の中で福岡工場からコカ・コーラ第1号製品が誕生した。翌年、わずか1年余で製造100万ケース突破の快挙を成し遂げた。

三愛会



1958年4月29日

市村、母校の佐賀県北茂安小学校に講堂を寄贈

故郷へ恩返しをしたいという願いの表れであった。

瀬の本高原リゾート



1965年8月25日

三愛レストハウス完成披露・開業

熊本県国立公園阿蘇山の一角、瀬の本高原に位置し、九州横断道路の中心にある。

日本リース



1963年8月1日

(株)日本リース・インターナショナル設立

「使用すれど、所有せず」のキャッチコピーのもと、アメリカで成長していたリース業に進出。

リコーエレメックス



岡崎工場内に新設された量水器工場(1962年12月)

1962年5月8日

市村、高野精密工業(株)の再建に着手(62年8月、リコー時計(株)に社名変更)

時の通産大臣らの要請で、名古屋の高野精密工業の再建に乗り出す。「ダイナミックオート33」などの人気商品を生み出していった。

瀬の本高原リゾート



1983年4月1日

三愛高原ホテルの営業開始

三愛観光、三愛レストハウスの建つ熊本県阿蘇・瀬の本高原に、三愛高原ホテルをオープンした。

リコーリース



2001年、東京証券取引所市場第一部に指定
1976年12月

リコークレジット(株)設立
(84年リコーリース(株)に社名変更)

事務用機器を中心としたクレジット販売事業、金融機関提携ローンなどの融資事業の営業を開始した。

市村清新技術財団



財団事務所となった旧市村邸と市村賞トロフィー
1968年12月12日

新技術開発財団設立を
内閣総理大臣認可



市村は世の中の役に立つ仕事の基金として個人資産のほとんどにあたる約30億円を寄付、設立が許可されたのは亡くなる4日前であった。

リコー



1986年2月6日

リコー、創立50周年

リコー創業50周年にあたり、社史「リコー50年の歩み」の発行などを行った。

リコー



1975年11月

リコー、事務機業界初の
デミング賞を受賞

2代目社長館林三喜男の強い意志で品質管理向上を図った成果が表れた。



デミング賞のメダル

三愛会



1968年12月16日

創業者・市村清逝去

1985

1980

1975

1970

リコーエレメックス

1986年4月1日

リコー時計、
リコーエレメックス(株)に社名変更

リコーエレメックス

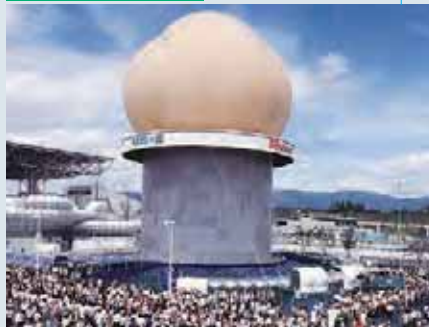


1988年4月23日

リコーエレメックス、
創立50周年記念式典を開催

記念式典では、社長挨拶、今後の展望、表彰、講演会などさまざまなイベントが盛大に行われた。

リコー三愛グループ

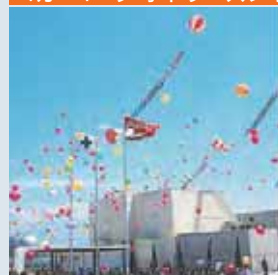


1970年3月14日

リコー三愛グループ、
日本万国博覧会(大阪)に
リコー館を出展

大きな目玉のバルーンが異彩を放ち、万博のお祭りムードを盛り上げると好評であった。

コカ・コーラ ボトラーズジャパン



1973年7月1日

日米コカ・コーラボトリング、
北九州コカ・コーラボトリング(株)
に社名変更

社名変更先に立ち、同年4月、門司工場を開設。5月22日に盛大な竣工式典が举行された。

リコーエレメックス



1966年12月24日

リコー時計、恵那工場増築竣工
腕時計生産を名古屋より恵那工場へ集中。

コカ・コーラ ボトラーズジャパン



1967年6月20日

日米コカ・コーラボトリング、
鳥栖工場を開設

竣工披露パーティーに市村も出席。

リコーリース



2006年12月21日
リコーリース、
創立30周年を迎える
記念ロゴを作成。

リコー



2005年9月
リコー、コーポレートブランド
ロゴをリニューアル
全体的に丸みを持ったラインによ
り、知的でありながら親しみやす
さと人間性を表現。

三愛オブリ

2002年6月9日
三愛石油、創立50周年を迎える

三愛オブリ



2002年11月1日
三愛石油、
コーポレートブランドを導入

三愛オブリ



2004年12月1日
三愛石油、石油元売会社である
キグナス石油(株)の全株式を取得
これにより業容の拡大を図るとともに、
長期にわたる石油製品購入権獲得によ
る仕入れの安定化およびグループ規模
での販売ネットワークの拡大を図った。

市村清新技術財団



1991年10月
新技術開発財団、
熱海に植物研究園開設

市村清の熱海にある別荘「清恵荘」を市
村幸恵夫人の遺志により植物研究園と
して研究者に開放した。

三愛オブリ



1996年10月
三愛石油、羽田空港における
新航空機給油施設供用開始

2005

2000

1995

1990

三愛オブリ



2008年7月
三愛石油、
国際油化(株)の全株式を
三井物産(株)より取得
三愛石油グループの一員と
して、販売ネットワークの拡
大を図る。

三愛会

1996年4月4日
三愛会、
創立50周年を迎える

リコー

2003年9月
三愛ドリームセンターが
「日本におけるモダンムーブメントの
建物100選」に選出
銀座の真ん中に位置し、特徴ある丸いビルの美学、
技術、思想が評価された。

三愛会



1991年5月27日
市村の母校・北茂安小学校に
市村清展示コーナー誕生

コカ・コーラ ボトラーズジャパン



2003年3月29日
「市村自然塾 九州」入塾式
「市村自然塾 関東」に続き、「市村自然塾 九州」が佐賀県に
オープンした。

リコー



2002年3月30日
「市村自然塾 関東」の入塾式、活動スタート
市村清生誕100周年記念として“生きる力を大地から学
ぶ”をコンセプトに、子供たちを対象とした「市村自然塾
関東」が神奈川県にオープンした。

リコーエレメックス

2023年4月23日
リコーエレメックス、
創立 85 周年を迎える

三愛オブリ

2022年4月1日
三愛石油、
三愛オブリ(株)に社名変更

三愛オブリ

2022年6月9日
三愛オブリ、
創立 70 周年を迎える

リコー



2022年1月12日
リコー、新素材を開発
植物と空気からできた新素材「PLAIR (プレアー)」のテスト販売を開始。

リコー

2021年2月6日
リコー、
創立 85 周年を迎える

三愛オブリ



2020年2月
三愛石油、新貯油タンク完成
増設工事を進めていた航空燃料用の貯油タンク2基が完成した。

三愛オブリ



2010年10月
三愛石油、
羽田空港再拡張事業に伴う工事完了
国際線地区給油施設の建設、貯油基地タンクの増設、新桟橋建設を行った。

リコー



2016年4月15日
リコー環境事業開発センターを開所
「脱炭素社会」・「循環型社会」を実現するための課題に取り組む重要拠点

三愛会



2018年7月・2019年1月
市村清没後 50 年
『三愛会会誌』特別号
を発行
『三愛会会誌』161号、162号を特別号として企画・発行した。

2023

2020

2015

2010

三愛会

2021年4月4日
三愛会、
創立 75 周年を迎える

三愛会

2021年10月1日
佐星醤油、
三愛会に入会

三愛オブリ

2022年10月
三愛オブリガス中国、
三愛オブリガスサービス中国、
三愛会に入会

リコー



2020年11月2日
リコー、新施設「3L」を開設
リコー大森会館を改築、次世代ワークプレイス「3L (サンエル)」を開設。

市村清新技術財団

2018年4月1日
新技術開発財団、
公益財団法人 市村清新技術財団に改称

三愛会

2019年10月1日
サガテレビ、
西銀座デパート、
エフエム佐賀が
三愛会に入会
三愛会の常任理事会社のグループに属さない会社の三愛会入会は33年振りとなる。



リコー



2016年3月14日
リコー、
ヘルスケア分野に参入
脳磁計での測定の様子

瀬の本高原リゾート

2019年10月1日
三愛高原ホテル、
瀬の本高原ホテルに屋号変更
三愛レストハウス、
瀬の本レストハウスに屋号変更
2019年4月、両施設の運営会社である三愛観光(株)が瀬の本高原リゾート(株)に社名変更。それに伴い、同年10月、両施設の屋号もそれぞれ変更して、新たなスタートを切った。



コカ・コーラ ボトラーズジャパン

2009年1月
吸収合併により、
コカ・コーラウエスト(株)に社名変更
コカ・コーラウエストホールディングス、
コカ・コーラウエストジャパン、
近畿コカ・コーラボトリング、および
三笠コカ・コーラボトリングを吸収合併。